



2020 年 3 月 31 日

## Elsevier による“Novel Coronavirus Information Center” についてのお知らせ

日頃よりご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

エルゼビアでは新型コロナウイルスに関する文献情報を“Novel Coronavirus Information Center” を通じて公開しており、弊社のChief Medical Officer である飯村 傑より、関係各位にご案内しております。つきましては、貴学会の皆様にも参考情報としてお知らせ申し上げます。

---

お客様各位

平素より大変お世話になっております。エルゼビア・ジャパン Chief Medical Officer の飯村でございます。

先般、弊社の [Novel Coronavirus Information Center](#)、[The Lancet COVID-19 Resource Centre](#) のご案内をさせていただきましたが、その後も国内・国外ともに感染の拡大は続いております。前回に引き続き、エルゼビア・ジャパン Chief Medical Officer の視点から臨床的に意義の高いと思われる出版論文を独断でリストアップいたしましたので共有させていただきます。ご参考になれば幸いです。

### 成人

UCSF 放射線科からの胸部 CT に関する correspondence。（事前確率が高かったであろう）武漢での報告では PCR 陽性患者の 97% で胸部 CT 上異常陰影が認められたのに対し、日本のダイヤモンドプリンセス号の患者における報告では異常陰影を認めたのは PCR 陽性患者のわずか 61% であり、症候性の患者に限っても 20% では何の異常所見も認められなかった。浸潤影・すりガラス状陰影といった所見は COVID-19 以外の肺炎でも認められ、決して本疾患に特異的ではない。著者らは、正常の胸部 CT 所見は COVID-19 を除外するものではなく PCR の代替として診断的に用いる事は見逃しにつながる可能性があり、CT 機器を媒介とした感染拡大もありえるため十分な注意を払うよう警鐘を鳴らしている。

A role for CT in COVID-19? What data really tell us so far

[https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736\(20\)30728-5/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(20)30728-5/fulltext)

※プレプリント 浙江大学関連病院に 2020 年 1～2 月に入院した COVID-19 患者 96 人の横断研究。気道由来検体（18 日）や血清（16 日）と比較し、便中のウイルス検出期間は有意に長かった（21 日,  $p<0.001$ ）。重症例での気道由来検体は軽症例よりも有意に長かった（21 日 vs 13.5 日,  $p<0.001$ ）。ウイルス量は軽症例では発症後 2 週間目でピークを迎えたのに対し、重症例では 3 週間目でも高いままだった。特に回復期において、感染拡大防止には便検体の管理が必要である。

Viral Load Dynamics and Clinical Disease Severity in Patients with SARS-CoV-2 Infection

[https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract\\_id=3551345](https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract_id=3551345)

※プレプリント 武漢 Jin Yin-tan Hospital からの PCR が陰性になったり陽性になったりを繰り返した COVID-19 患者 30 例の報告。PCR の結果は臨床的・画像的な改善を必ずしも反映しなかった。

The Desynchrony between Clinical Course and RT-PCR Test Results in Patients with COVID-19 Infected Pneumonia During the Treatment in Wuhan, China

[https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract\\_id=3551404](https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract_id=3551404)

## 妊婦・小児

浙江省の 3 病院から 36 人の小児 COVID-19 患者の報告。19 人（53%）が肺炎を呈したものの、7 人（19%）は急性上気道炎様症状、10 人（28%）は無症候だった。特徴的な検査所見としては、CK-MB の上昇（31%）、リンパ球減少（19%）、プロカルシトニンの上昇（17%）。重症度との相関を認めたのは、リンパ球減少、体温の上昇、プロカルシトニン・CK-MB・D ダイマーの上昇だった。全ての患児は完治した。無症候性の患者がかなりの部分（28%）を占めていることは市中感染の危険性につながっていると考えられる。

Clinical and epidemiological features of 36 children with coronavirus disease 2019 (COVID-19) in Zhejiang, China: an observational cohort study

[https://www.thelancet.com/journals/laninf/article/PIIS1473-3099\(20\)30198-5/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/laninf/article/PIIS1473-3099(20)30198-5/fulltext)

※プレプリント Renmin Hospital of Wuhan University からの妊婦 31 人（中央値 29.0 歳）vs 非妊婦の対称群 80 人（中央値 33 歳）の症例対照研究。妊娠 COVID-19 患者では炎症反応が賦活化されており、呼吸困難例・3 症状以上を訴えた例・重症例は少なかった（3.2% vs. 18.8%）。

Clinical Characteristics of Pregnant Women with Coronavirus Disease 2019 in Wuhan, China

[https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract\\_id=3555240](https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract_id=3555240)

※プレプリント 武漢 Tongji Hospital から 7 人の妊娠 COVID-19 患者と新生児の報告。妊婦は平均年齢 32 歳（29～34 歳）、平均妊娠週数は 39 週 1 日（37 週～41 週 2 日）。症状発現 3 日以内に全員帝王切開を行った。誰も集中治療は必要としなかった。新生児 7 人の出生体重・Apgar スコアは正常。そのうち 3 人に PCR を実施し、1 人で感染が確認された。

Clinical features and obstetric and neonatal outcomes of pregnant patients with COVID-19 in Wuhan, China: a retrospective, single-centre, descriptive study

[https://www.thelancet.com/journals/laninf/article/PIIS1473-3099\(20\)30176-6/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/laninf/article/PIIS1473-3099(20)30176-6/fulltext)

#### 看護

※プレプリント 同一看護師による標準化された検体採取は咽頭スワブの COVID-19 検出力を上げる可能性がある。舌スワブは簡便だが咽頭スワブより検出力が劣るようだ。

Standardized Sampling by the Same Nurse Could Improve the Positive Rate and Consistency of the Throat Swabs to Detect COVID-19, Preprints with The Lancet (March 3, 2020)

[https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract\\_id=3546084](https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract_id=3546084)

この他にも [Novel Coronavirus Information Center](#)、[The Lancet COVID-19 Resource Centre](#) には有用な論文や[教科書チャプター（マンデル感染症など）](#)が多数掲載されております。さらにご興味のある先生方はこれらサイトをご訪問ください。

飯村 傑

エルゼビア・ジャパン株式会社

Chief Medical Officer

「今日の臨床サポート」編集長

米国内科専門医

日本内科学会認定